

科目名	生活教養	学年	3年	使用教材	【教科書】
		必修・選必・ <span style="border: 1px solid black;">コース選</span>			【副教材】きもの教本
		単位数	2単位		

#### 学習目標

社会生活におけるマナーを実習を通して学習し、その中で日本の伝統衣装の和服について知識理解を深めるとともに、和服の着装に関して体験的に技術を身に付けさせる。

#### 学習方法

- 実践的・体験的な学習活動を通して、ファッションデザインに関する分野を科学的・総合的にとらえていくことに努めましょう。
- 実際の生活に生かせるよう、学んだことを自分自身の問題ととらえ、ファッションデザインの知識・技術をよりよくするための工夫を考え、実践しましょう。
- 授業で活用するワークシートを上手に活用して、学習が確実に自分のものとなるよう、より深い理解をめざして取り組みましょう。

#### 学習評価

○次の4つ観点に基づき、学習内容のまとめりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	社会生活におけるマナー及び日本の伝統衣装の和服について感心を持ち、さらに和服の着装に関して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度をみにつけようとしている。
②思考・判断	社会生活におけるマナー及び日本の伝統衣装の和服について主体的に思考し、和服の着装に関して適切に判断し、工夫・創造する能力を身につけている。
③技能・表現	社会生活におけるマナー及び日本の伝統衣装の和服、さらに和服の着装に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。
④知識・理解	社会生活におけるマナー及び日本の伝統衣装の和服、さらに和服の着装をするのに必要な知識を総合的に身につけている。

○学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
一学期	1、服装の身だしなみ <ul style="list-style-type: none"> <li>・服装のTPO</li> <li>・洋装・和装・制服のマナー</li> </ul> 2、着付けの基本 <ul style="list-style-type: none"> <li>・お辞儀の仕方</li> <li>・基本になる着付け</li> </ul> 3、若い人の着付けと補正の必要性           4、普段着の着付け <ul style="list-style-type: none"> <li>・下着の着方、着物の着方</li> <li>・名古屋帯の結び方</li> </ul> 5、着物と帯 <ul style="list-style-type: none"> <li>・着物と帯の調和</li> <li>・小物の合わせ方</li> </ul>	○生活教養の目的をよく理解し、服装のTPOやマナーについて思考を深める。 ○着付けに必要な小物の名称や使用目的、着物の部分名称について理解し、実践的に普段着の着付けができる知識や技術を身につける。	○指導書、資料、実物見本を活用し、普段着の着付けについて実習を通して学習する。 (学習状況観察) (期末考査) (実技試験)
2学期	6、浴衣の着付け <ul style="list-style-type: none"> <li>・浴衣の着付けと半幅帯の結び方</li> <li>・半幅帯の変わり結び</li> </ul> 7、外出着の着付け <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問着の着方</li> <li>・袋帯の結び方</li> </ul> 8、振袖の着付け <ul style="list-style-type: none"> <li>・振袖に合った帯結び</li> </ul> 9、留袖の着付け           10、着物の知識とマナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・着物のTPO</li> <li>・立ち振る舞い</li> </ul> 11、冠婚葬祭のマナー	○普段着と浴衣の着付けに必要な小物の違いを理解し、浴衣の着付けに必要な知識と技術を身につける。 ○外出着や振袖、留袖など、それぞれに応じた着物や帯、帯結びについて理解を深め、身についた知識や技術を生かしてそれぞれに応じた着付けが実践できる。	○指導書、資料、実物見本を活用し、普段着の着付けについて実習を通して学習する。 (学習状況観察) (中間考査・期末考査) (実技試験)
3学期	12、着物の歴史 <ul style="list-style-type: none"> <li>・和服の変遷 古代着付けと近代着付けの違い</li> </ul> 13、贈り物の知識           14、客の招き方、訪問の仕方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶の入れ方、出し方</li> </ul> 15、初級講師の取り組み (実技・筆記)	○和服の変遷及び、古代着付けと近代着付けの違いについて理解を深め、小物を使いこなして着付けをすることが出来る。 ○お茶の入れ方や出し方、訪問の仕方などに理解を深め、実践することができる。 ○初級講師の資格取得にむけて取り組むことができる。	○指導書、資料、実物見本を活用し、実習を通して学習する。 (学習状況観察) (期末考査) (実技試験)